



細江カトリック教会だより



秋号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

「主が家を建てられるのでなければ」

10月に入り、ようやく朝晩秋を感じるようになりました。天使幼稚園も運動会が終わり、落ち着いた生活が戻っています。そんな中で、今年の待降節から始まる新しいミサ式次第のための研修会が始まっています。今まで慣れ親しんだ言葉遣いが変わることに戸惑いを感じたり、新しい表現に違和感を感じる方もおられると思いますが、全世界に広がる教会の連帯を深めるという意味を考え、少しずつ慣れてまいりましょう。

この秋になって、一層切実感を増してきたのが、教会の建て替えのことです。建設委員会も精力的に会議を重ねていますが、信徒の皆様の中には、様々な疑問をお持ちの方もおられると思います。なぜ、今、この立派な教会を建て替える必要があるのか、部分的な補修では間に合わないのか。必要な資金は調達できているのか。工事中の教会活動はどうなるのか。新しい教会はどんな形になるのか、等々。これは、すべて、私自身が抱えてきた疑問です。今なお、すべて、答えが出たと言えるものでもありません。

洗礼を受け、共に祈り、信仰を分かち合い、結婚式を挙げ、また、親しい方を天国にお送りする、そんなわたしたちの家を失うことは耐えがたい寂しさと痛みを伴うものです。教会は建物ではない、と言いますが、この愛する建物がなければ、教会の中心であるミサも、集いも、そして、皆の一致も実現しなかつたでしょう。細江教会は、60年を超える歴史を、この建物とともに歩んできました。建て替えには複雑な思いが伴います。しかし、将来のことを考えれば、今、この決断を実行しなければ、二

度とチャンスは訪れません。主がこの時を用意してくださったと、心に銘記し、進んでまいりましょう。

皆さんは、新しい教会にどのようなイメージをお持ちでしょうか。新しい建物に対する期待は何でしょうか。一人一人、心に思い描いてみてください。すべて、実現することはないかもしれませんが、しかし、皆さんの思いが、きっと新しい教会の中に、形となって表れてくると思います。忙しい現場を離れ、仕事からも人からも離れて、落ち着いて静かな時をもつ、そこで、普段意識しない神の存在を親しく感じる祈れる場、入りやすい、気楽に立ち寄れるスペース、共に神を賛美し、再び歩みだす力をいただく空間。そんな希望を具体的に形に表わすとどのようなものになるか、思い描いてください。

そんな夢を実現してくださるのは神ご自身です。想像以上に多くの方の協力が必要です。資金も欠かすことができません。しかし、すべてを取りまとめ、完成に導いてくださるのは神をおいてありません。わたしたち皆の祈りが必要です。是非これからの日々、よりよい教会建物の誕生のために祈り続けましょう。

主任司祭 作道 宗三



再会のよろこび！



*昨年10月31日
細江教会のミサにて

ベトナムから参りました ペトロ グエン・ヴァン・トアンです。

2016年9月から2018年3月まで中間期生としての私がこの下関の細江教会でお世話になり、その節は大変ありがとうございました。これからもまたよろしく願いいたします。

細江教会を出て4年目になった昨年9月4日に、東京のイグナチオ教会で司祭に叙階されました。そして、細江教会に戻ってくる前に、約4か月防府教会に派遣されていました。

自分がいたことがある細江教会に派遣されることになったと分かった時に、本当に嬉しかったのです。だからといって、心配することはないとは言えません。それは日本語のことです。中間期の時とは違って、今では助任司祭としてミサにおけるみ言葉の分かち合いをしたり、ミーティングなどに出たりする機会が次第に多くなりそうなので、心配しているということです。

この問題は、日本にいる限り残る問題だと思っております。ですが、神様の恵みと皆さんの支えと励ましによって、神様に示された道を忠実に生きることができると信じております。

教会を建て替えるとの話は随分前から聞いておりましたが、それがいつ実行されるかは全く分かりませんでした。しかし、こちらに戻ってきた1ヶ月の間、来年の夏ごろ建て替えることになったとの話を聞いて、私は言葉に言い表せない嬉しさを感じています。もちろん、工事中にはミサや教会の活動などが不便になると分かっていますが、何よりも皆さんと一緒に「同じ船」に乗ってこれから建てられる教会そのプロセスに参加させてもらうことが本当に嬉しいのです。目に見えるものを通して、目に見えない恵みを与えられるという聖アウグスチヌスの秘跡の理解によりますと、私たちの教会そのものは秘跡だと言えます。なぜかという、教会という目に見える建物を通して、神様はそこに集まる人々に恩恵を与えてくださるからです。教会に集まる人々に限ることではなく、教会を見る人にも何らかの形で恵みを与えてくださると信じています。人々のための秘跡となる教会を建て替えるそのプロセスに参加するという風に考えますと、私には本当に恵みです。



美化運動 9/25 日曜日



日曜日ミサ後に、信徒全員で教会周辺の歩道や日和山階段の清掃活動をしました。

メイン道路の道端の草や歩道での放置されたゴミ、溝や階段は気になっていた場所でしたので、皆さまのご協力でもとても綺麗になって清々しい風が吹くように感じられました。

地球環境を守ることは、皆さまの生活、生きている全ての生物にも大切なことです。

この広い地球の小さな日本でも 私たちの小さな努力が少しでも地球の保全に繋がるようになったかな？なんて感じます。ちょっとオーバーですが・・・。

ベトナム青年の働きもさるものですが、皆さまのお力に感謝して、美化運動を続けていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

近藤

*センターの横には金木犀の香りが 秋の気配を感じます。



地区だより IX 北部地区

*或るバス停で時間待ちしていると、後ろから「色の黒い孫を連れて帰り、かわいくもない」と、つぶやく声が聞こえる。そっと後ろを振り向いても一人話しをしている。私に話しかけているのだと思い、私も孫の事とかいろいろと話ししながら・・・。そのうちバスも来て「ありがとうございます」と、言って去って行かれた。見知らぬ人に話しかけたただけなのだろうと思っている。(お幸せに！！)

*小さい頃、週に一回公教要理の勉強があり、みなマリアさまになりたい、神父様にと意気込んでいましたが、私は教会学校の後、いとこ達と遊べるのが楽しみでした。神さまには、初聖体・堅信と祝福をいただきました。祈りながら感謝です。

*聖体奉仕者にと地区の方が言ってくださり、私が？私が？・・・と。ご聖体を大切にお渡し

すれば良いのだと思い神父様よりお話がありました時は、お受け致します。二年間お世話になりありがとうございました。

*北部地区は遠距離にあり人数も少なく、若い時は苦にならなかったのですが、足腰も弱り車での移動が必ず必要です。

信仰の厚い方が多いので、どうか神さま見守ってください。

E・I



ベトナム青年 自己紹介



私はタオです。今年29歳です。家族は5人います。

趣味は景色を見る事です。

日本に来てから5年経ちました。一年前細江教会の事を知ってから、毎週の日曜日通うようになっていきます。

教会でベトナムの青年たちや日本人の方と一緒にミサに参加することが出来、とても嬉しく思います。教会のために出来る事があれば、遠慮なく私に教えてください。手伝いますから！

*タオさんは主日のミサで侍者を。

木工も得意で祭壇の書面台、センターのマリアさまの台も製作してくれました。

ご報告

標語掲示の撤去について

第3回宣教司牧評議会の議事録にもある通り、掲示の言葉に違和感を覚える人がいると御意見をいただきました。

現在「世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」の反社会性が大きなニュースになっていることが背景にあるのかもしれませんが。会議出席者の皆さま全員にどう思われるか御意見をいただきました。「違和感がありそぐわない・犠牲という言葉の違和感・目くじら立てる程でもない・献金とわかりやすく」等、個人差はありますが意見を集約すると半数の方が違和感があるということでした。社会情勢の移り変わりが激しい中、標語は充分役割りを果たしたということで撤去することを皆さまで決定いたしました。

『教会を支えるのはわたしたち、教会のために捧げた犠牲は必ず報われます』撤去されても教会を支えるのは私たち。皆様共々物価高の世の中ですが互いに助け合ってまいりましょう。

副代表 大住 昭夫

ロクスひよりやま号 どこへ行く！

宇部教会より発信されました。

キッチンカーの中井神父さま、大活躍！



*アルティリオ神父様は
イエズス会入会
75周年を迎えました。
おめでとうございます！

祈り

戦争の終結を願う祈り

偉大なるいつくしみ深い神、
平和といのちの主よ、
あなたは苦しみではなく、平和のための計画をお持ちです。

あなたは戦争を非難し、暴力に訴える者の思いあがりなくじきます。

あなたは、近くにいる者にも、遠くにいる者にも平和がもたらされるように、

また、すべての人種、国家が一つの家族となるように、イエスをお遣わしになりました。

被造界のすべての生き物を脅かす戦争、暴力と死の連鎖をわたしたちは望みません。神よ、この全人類の心からの叫びを聞いてください。

今、ウクライナで起こっている戦争を、一日も早く終結させてください。

神の母マリアとの一致のうちに、今一度、あなたにお願いいたします。

人類の運命のかぎを握る人々が、復讐や報復の論理を用いないよう働きかけてください。

この地上、二度と核兵器が使用されないよう助けてください。

聖霊を遣わし、対話と忍耐、寛容と高潔さを通して、問題解決への新しい道を見出すことができますように。

それは、性急に戦争に向かうより、はるかに多くの、平和への実りをもたらすからです。

* 憂慮すべき状況の中で、わたしたちは聖母マリアの取り次ぎ、アッシジの聖フランシスコの取り次ぎを願いながら、神さまの助けと導きをより強く求めるために、このロザリオの月を一日も早いウクライナにおける戦争の終結を願う祈りの月間として、それぞれの教会共同体で可能な方法で祈りと犠牲をささげていただくよう、心からお願ひ申し上げます。

広島教区 アレキシオ 白浜 満司教様より

帰天

† 9月28日 マリア 有光昭子さま(87歳)
新しい出発をお祈りしましょう・・・